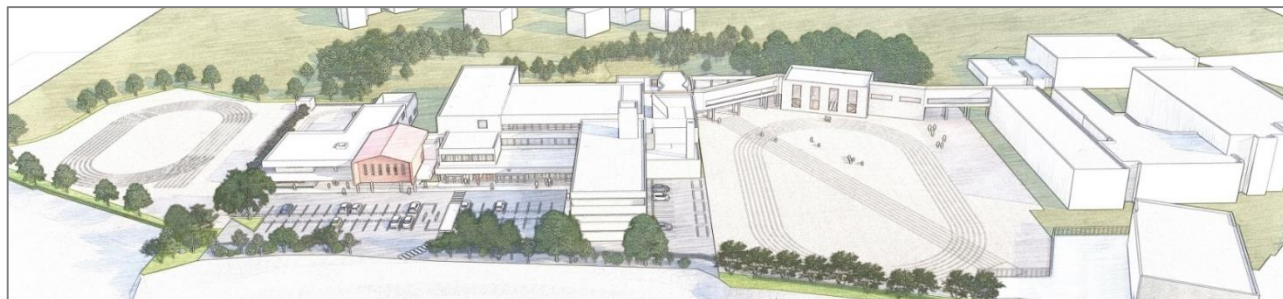




川岸学園NEWS

～異年齢の子ども達がつながる新たな環境づくりをめざして～ 第18号

義務教育学校と認定こども園の両施設の 総称名が「川岸学園」に決定しました！



12月15日(月)の市議会全員協議会において、川岸学園の開校・開園に向け、「施設名称に関する基本方針(案)」を報告させていただきました。報告内容は「園・校の共通の名称」と「両施設の正式名称に関する方針」、「名称決定までのスケジュール」となります。

義務教育学校・認定こども園の共通の名称について

川岸学園構想により施設づくりは、「義務教育学校」と「認定こども園」という種類のちがう施設を一体的に整備し、異年齢をつなぐ環境を創出するものであり、「川岸学園」という呼び方は、構想策定時から様々な場面で使われており、地域や保護者、子どもたちに広く浸透しております。この構想の理念を象徴する両施設に共通する「総称名」として「川岸学園」を使っていきます。

各施設の正式名称に関する基本的な方針について

義務教育学校及び認定こども園の両施設は法令に基づき、それぞれ市条例で規定する必要があります。国の施設区分等に基づいて、施設名の大きな枠組みは下記のパターンを基本とします。

また、地域に根ざし、愛される名称とするため、各施設名称の()の部分については、子どもたちや保護者、地域の皆様などの声をしっかり聞きながら、丁寧に決定してまいりたいと思います。

義務教育学校の正式名称	岡谷市立()義務教育学校
認定こども園の正式名称	岡谷市立()認定こども園

名称決定までのスケジュール

義務教育学校及び認定こども園の両施設の名称決定は下記のとおり、進めてまいります。

令和8年1月～2月	新たな施設名称の公募 ＊校名、園名の()の部分を公募します
3月	公募した校名・園名の中から名称案の絞り込み
4月	名称の候補案を公表、市民意見聴取(パブリックコメント)
6月以降	校名・園名の正式決定(市及び教育委員会)

幼児期の教育と保育の新たな指針となる 「岡谷市幼児教育・保育大綱」を制定しました

本市の公立保育園では、こどもの最善の利益を考慮しながら、共通の「保育目標」を掲げ、日々の保育園運営にあたっておりますが、今後は本市の保育園整備計画や川岸学園構想に位置付けた「公立の幼保連携型認定こども園」にも適応できる共通の目標を掲げ、幼児期の教育と保育の質を一層向上させるとともに、一体的な取り組みを進めていく必要があります。

令和6年2月に策定をしました「岡谷市教育大綱」との整合を図る中で、新たに「岡谷市幼児教育・保育大綱」を制定しました。制定をした大綱を基に岡谷市全体として一貫した幼児教育・保育の方向性を示し、こどもたちの健やかな成長を支えてまいります。

岡谷市幼児教育・保育目標

令和7年12月策定

【理 念】

- ・安心して過ごせる行き届いた環境のもと、こどもたちの健やかな成長を促し、安定した情緒と豊かな感性を育みます。
- ・豊かな活動を積み重ねて、幼児期に必要な資質と能力を高め、心身の調和のとれた発達を促します。
- ・さまざまな体験や人とのふれあいに満ちた「学び」と「育ち」の環境のなかで、生きる力の基礎を培います。

【めざすこども像】

- 明るく元気に学び、自ら行動できるこども
- 自分を大切にし、相手を思いやるやさしいこども
- よく考え豊かに想像し、自分なりに表現できるこども

岡谷市の幼児教育・保育のねらい

出典：「保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領」

